

平成28年度 京都大学エネルギー理工学研究所
第2回ヘリオトロンJ双方向型共同研究委員会議事録

日 時：平成29年2月10日（金）午後3時～6時10分

場 所：エネルギー理工学研究所 北4号棟4階 小会議室

出席者：渡邊、岡村、政宗、福田、吉川、村上、水内、岡田、長崎、南（敬称略）

欠席者：北島、西野（敬称略）

議事に先立ち、配布資料の確認が行われた。

議事

1. 平成28年度第1回委員会議事録案の確認

岡田幹事より資料1の前回議事録の読み上げが行われ、文中の親委員会日程の訂正をもって承認された。

2. 平成29年度申請課題の審査について

資料4に基づいて各課題の審議が行われた。村上幹事より資料4-(1)の各委員会の評価コメントが紹介され、岡田幹事が査定額の算出についての説明を行った。1件ごとに質疑応答、意見交換をした結果、研究代表者へ確認を要するため保留となったNo.4、No.21、No.23以外は異議なく審査案が承認された。同一研究者が2課題申請をしているNo.21については、委員長、センター長、幹事で委員会としての最終案を出すこととなった。

昨年度に対し全体予算約1.6%減額に伴い査定額総額は若干減額されたが、申請総額に対する査定総額の割合は昨年度と同様であることが述べられた。

次に、岡田幹事より29年度報告会発表候補者として、資料4-(2)に基づいて、水内、小川、伊神各氏3名と、あと1名については課題内容が類似した鈴木・成嶋両氏のうち幹事が後日選出することが承認された。各氏に内諾を得てから候補者として決定する。

来年度以降、申請者が事前にセンター世話人と意見交換するべきとの提案があり、システム化への素案を委員長、センター長、幹事で検討することとなった。

3. 平成29年度ヘリオトロンJ実験計画について

岡田幹事より資料5に基づいて定期検査及び実験スケジュールが説明された。弱磁場実験については、現在は予定がない。ISHW会議が10月2～6日に開催される。

5. その他

記載事項なし。

資 料

1. 第1回議事録（案）
2. 核融合科学研究所の双方向型共同研究審査日程
3. 平成29年度申請書
4. 平成29年度審査結果
 - (1) 双方向型共同研究審査一覧表
 - (2) 発表者リスト
 - (3) 平成28年度報告書
5. 平成29年度ヘリオトロン実験スケジュール

以上

以下は内部の Memo です。添付はしません。

No.4 (笠原) 戦略室 → 職務として実験に携われないはず → 保留
課題研究としては重要であるので残しておきたい
→委員会としては審査内容を認めた上で、研究実施を
要望する。例えば、研究代表者変更も承認する。

No.21 (田中) 同一研究者が 2 課題申請
→ 過去にない事例 委員会として承認するか
研究課題の内容から研究代表者の変更 (共同研究者とのチェンジの
方が現実味がある)
ベース課題に吸収
双方向型共同研究の定義として
委員長、センター長、幹事で委員会としての最終案を出す。

No.23 (高橋) 東北大の学生の旅費は申請されていないが…。

来年度以降、申請時における世話人との関係についての素案も 3 者で考える。